

ことば村シンポジウム

多言語社会日本

MULTILINGUAL SOCIETY JAPAN

同じじゃないから、豊かな世界。

日本における多様な言語活動をさまざまな角度から考察し、必要な提言を行うシンポジウム・シリーズの第一弾です。
今回は、戦後のヨーロッパの言語政策を先導してきた欧州評議会の言語政策を参照に、日本の先住民族言語アイヌ語と、対極に位置すると思われる日本語同系言語である琉球語南西方言の再活性化を提言することを目的としています。

ことばの花 咲きみだれる地球へ



プログラム

1. 開会挨拶	ことば村理事長		
	阿部年晴	「言語の多様性－人類の大切な遺産」	(13:00-13:10)
2. 司会	金子亨	「ヨーロッパの経験と日本の少数言語政策」	(13:10-13:30)
3. 報告1	山川智子	「多言語社会ヨーロッパの言語政策」	(13:30-14:10)
4. 報告2	佐野 彩	「ヨーロッパの地域・少数言語の事例 －フランスのサヴォワ語を中心に」	(14:10-14:50)
		休憩 (10分)	
5. 報告3	中川 裕	「アイヌ語再活性化の現状」	(15:00-15:40)
6. 報告4	下地理則	「琉球語宮古方言の再活性化」	(15:40-16:20)
7. パネル討論		「ヨーロッパの言語政策と日本の少数言語再生」	(16:20-17:00)

【日時】2010年3月22日(月・祝)13時～17時
【会場】東京外国語大学本郷サテライト [参加費] ¥1,000 (資料代)



申込 地球ことば村事務局 03-5798-2828 info@chikyukotobamura.org
主催 NPO 法人地球ことば村・世界言語博物館
東京都目黒区東山 2-9-24 TEL : 03-5798-2828 / FAX : 03-3713-9932